



営農  
担い手

## 第8回JA営農指導実践全国大会が開催されました

今回営農指導員など320名以上が参加し開催されました本大会(2/16)は、特に優れた産地振興や技術普及等に取り組んだ営農指導担当職員を表彰し、その取り組みを全国で広く共有するで、営農指導の品質向上と営農指導員ネットワークの構築をはかることを目的に平成28年度より開催しています。

全国8ブロックから選出された営農指導員の代表が、農業者の所得増大や農業生産の拡大の実現に向けて、産地の振興・活性化等、智恵と工夫、並々ならぬ努力に裏打ちされた活動の成果を発表しました。

本県JA松任園芸振興課中村係長が北陸地区ブロック代表として事例発表し、優秀賞を受賞されました。

後日、JAグループHPに当日の発表者の動画がアップされる予定ですので、ぜひご覧ください。

賞	県	JA	氏名	テーマ
最優秀	和歌山	JAわかやま	楫本 智司	『わかやま布引だいこん』を日本一の産地へ!! ～産地の持続的発展に向けて～
審査員特別	長崎	JA壱岐市	松嶋 新	めざそう!アスパラ主導で離島農業日本一へ ～小さな島の大きな挑戦～
優秀	宮城	JAいしのまき	木村 清太	青年部とさつまいもが起こしたギセキ
	千葉	JA安房	澤 卓功	農家が儲かるレモン産地化への支援 ～農家や関係機関とともに邁進～
	石川	JA松任	中村 瑞穂	白ねぎ出荷調整ネットワークの構築 ～拠点分散手法による産地形成
	静岡	JAとびあ浜松	阿久津浩樹	新規作目「葉ニラ」の経営モデル確立
	島根	JAしまね	渡部 優太	しまね和牛復活! ～日本一の和牛産地を目指して～
	高知	JA高知県	山影 学	日本一のユズ産地を支える取り組み

営農  
担い手

## 農業担い手経営セミナーが開催されます

農業者の経営改善の進め方、所得を安定確保するための方法など、経営者自ら取り組める経営改善・所得向上に視点をあてセミナーを開催します。



- 日時 3/21(木) 13:30～
- 場所 地場産業振興センター 新館5F 第12研修室
- 開催内容
  - ・基調講演 小林 元 日本協同組合連携機構部長
  - ・情勢報告 経営所得安定対策について 北陸農政局
  - ・情勢報告 R6年度 農業施策について 石川県

## 女性TAC・営農担当者研修会が開催されました

2月20日（火）に県内JA女性担当者のスキルアップやネットワーク強化、モチベーション及び推進力の向上を目的に、「県外JAの女性担当者の活動事例紹介」と「食を通じた知識習得」の内容で開催しました。

「県外JAの女性担当者の活動事例紹介」では、JAいわて中央・米田氏を招き、全国表彰された活動の事例紹介と意見交換を行い、「食を通じた知識習得」では、しもおきひろこ氏を講師として、しおもき氏が運営する「ひなた食堂」にて食事をしながら食材の情報や担い手とのコミュニケーション方法などについて学びました。



## R5JAグループ石川TACパワーアップ大会が開催されました

2月26日（月）に石川県農業会館にて開催し、JA常勤担当役員をはじめ、営農部課長、TAC担当者約70名にご参加いただきました。大会では、全国TACパワーアップ大会2023・TAC部門で最上位賞を獲得されたJA石川かほく・櫻井課長補佐より事例発表いただいたほか、県内の優良なTAC活動の取組みに対し、「優秀TAC賞」「優秀新人TAC賞」「レジェンドTAC賞」の区分で、一定の成果が得られた5名を表彰しました。また今年度、県内TAC活動の更なる活性化に向けて新たに取組んだ「TAC活動改善プロジェクト」の成果報告を、講師として招いたファームサイド(株)・佐川代表と4JA（小松市・松任・金沢市・石川かほく）のTAC管理者によるトークセッションなどにて行いました。JAグループ石川では、今後もTAC活動におけるの基本事項の徹底や体制の整備などを図るとともに、担い手ニーズに応えられる人材育成に取り組めます。

受賞された方々は次のとおり

- ◆TAC特別賞：櫻井和幸（JA石川かほく）、西田誠也（JA能美）、JA金沢市
- ◆優秀TAC賞：上田啓太（JA能美）、尾崎哲也（JA金沢市）、高森静香（JA石川かほく）
- ◆優秀新人TAC賞：西出圭吾氏（JA加賀）
- ◆レジェンドTAC賞：中田昌孝（JA松任）



## R6年産主食用米の「生産の目安」の設定について

県農業活性化協議会では、令和6年能登半島地震で甚大な被害を受けた、能登の農業の再建を後押しするとともに、県産主食用米の生産量を確保するため、被害が軽微だった地域に対し、当初配分に上乗せした生産の目安を設定しました。

転作作物の契約取引等を考慮しつつ、県産主食用米の生産量確保に県一丸となって取り組みましょう。

### 【生産の目安の考え方】

農業の再建を後押しする観点から、できる限りの作付けを推進

奥能登2市2町  
(別枠)

地域内での調整を積極的に行い、生産量を確保

志賀町、七尾市  
(数量の変更無し)

県南部13市町  
(上乗せ)

奥能登2市2町の生産基準数量相当分を県南部13市町へ上乗せ



## 品目別WG「白ねぎ講習会」が開催されました

3月1日(金)、石川県農業会館6階第1会議室にて、白ねぎ講習会を開催しました。講師として、(株)サカタのタネを招き、白ねぎ栽培技術についての講義後、JA、県担当者と課題について意見交換を行いました。

令和5年産については、例年以上の夏期の高温や集中豪雨の影響を受け、全国的に白ねぎ生産に苦戦する年となり、石川県においても、昨年の実績を大きく下回る結果となりました。近年の気象条件の変化に伴い、

新たな栽培技術を取り入れていく必要がある中で、今回の講習会では、改めて圃場条件を整えることの重要性や、効果的な病害虫防除の必要性について理解を深めることができました。

今回学んだ知識を、次年度から現地指導に活かすことができるよう、引き続きワーキンググループでの協議、情報共有を図っていきます。



## G A P 研修\_農場評価会「南加賀地区」が開催されました

2月19日(月)、加賀市内の『奥谷梨生産組合』『株)リーフファーム加賀』をモデルに農場評価会を開催しました。

この評価会はG A Pの原理・原則を理解するとともに農場の事例を通して適正農業管理の実務を学ぶことを目的とし、J A加賀管内の梨農家、J Aや県職員を中心に約30名が参加しました。

参加者からは「経営を見直すいい機会となった。みんなで話し合い、できることから取り組んでいきたい。」と前向きな意見が聞かれました。

営農戦略室では引き続き、研修等を通じて生産者への意識啓発やJ A職員の人材育成を行っていきます。



<熱心に講義を聞く参加者>



<解説に耳を傾ける参加者>



~令和6年3月の予定~



期 日	内 容	場 所
3月12日(火)	農産物直売所連絡協議会 第3回委員会	6階大会議室
3月13日(水)	第5回TAC活動改善プロジェクト会議	中央会第1会議室
3月21日(木)	農業担い手経営発展セミナー	地場産業振興センター 新館
3月27日(木)	石川県集落営農組織 J A連絡協議会運営委員会	中央会第1会議室

【お問い合わせ先】 J Aグループ石川営農戦略室  
TEL : 076-240-5051 FAX : 076-240-9120